

④ 新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

西粟倉村のヒノキ間伐材を使用した子供の成長により用途が変えられるベビーベッド等の開発・販売

岡山県西粟倉村産のヒノキの間伐材を使い、ベッドとしての役割を終えた後でも子供の成長にあわせて椅子、テーブル等として使用できる、多機能かつデザイン性の高いベビーベッドや用途を変えて使用できる遊具等を開発・販売する。

➤ 連携体

農林漁業者 (株)木の里工房木薫(林業)

自社所有の山林を含む西粟倉村の山林管理作業及びベビーベッド部材としてヒノキ間伐材の一次加工までを行う。

中小企業者 (株)ヤマサキ(製造業)

ベビーベッドの製造技術を用いて、ヒノキ間伐材による多機能かつデザイン性の高いベビーベッドを開発・販売する。

連携参加者 (株)シファカ(デザイン業)

用途が変えられる多機能かつデザイン性の高いベビーベッド等のデザイン及び販促ツールの作成を行う。

サポート機関等 岡山商工会議所・(独)中小企業基盤整備機構中国本部

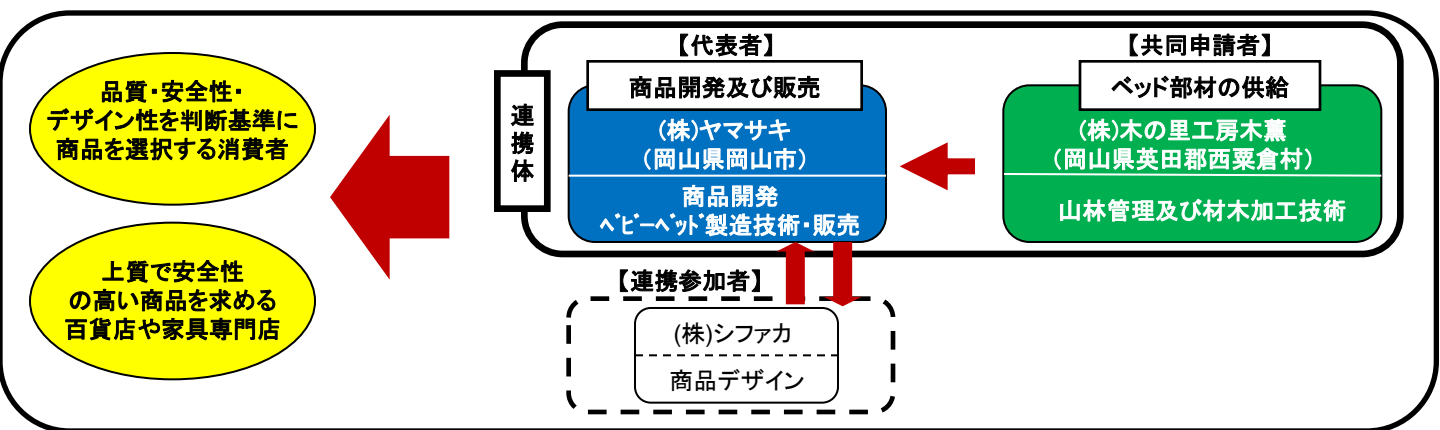
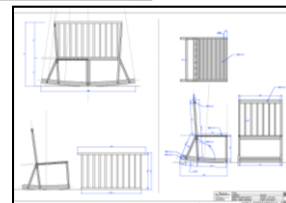
➤ 連携の経緯

(株)ヤマサキは40年以上の歴史をもつベビーベッド製造業者であるが、最近多くのお客様から国産材を使用したベビーベッドの要望をいただくようになり、商品化を検討していた。その折に、中小企業支援機関から間伐材の用途拡大を模索していた(株)木の里工房木薫を紹介され、双方にメリットが見込めるため、連携して事業を行うことになった。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

本事業における商品の開発は当社にとって新たな取組であるため、既存製品以上に設計・部材加工・接合方法等の製造工程の各段階において、部材の一次加工を行う林業者・デザインを担当する連携参加者との協働で、より高度なデザイン・技術開発・生産管理等の作業を行う必要がある。



➤ 連携による効果

農林漁業者 5年で1,000万円の売上増加、間伐材の用途拡大

間伐材の用途拡大による売上増加に加え、国産材を使用したベッドの部材供給者として知名度向上が期待できる。

中小企業者 5年で5,000万円の売上増加、収益性の改善

国産材によるベビーベッドは極めて希少であり、かつ機能性・デザイン性が高い商品の開発・販売により、収益性の向上及び新規販路の開拓が期待できる。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社ヤマサキ
TEL：086-241-1622
E-mail：info@ymsk.jp

所在地：岡山県岡山市南区当新田485-18
FAX：086-245-3928
ホームページ：http://www.ymsk.jp